

ニュージーランド酪農概要

・総生産量 : 2120万 t (18億 k g Milksolid)

・搾乳牛頭数 : 502万頭(北島300万、南島200万)

・農場数 : 11970 (北島8818、南島3152)

平均農場搾乳頭数 : 419頭(北島343、南島634)

・平均農場放牧面積 : 146ha

Stocking rate : 2.87

・個体平均乳量 : 4235 ℓ

・乳牛品種割合 : キウイクロス45.6%、ホル34.7%

ジャージー10.4%

・経営体系 : オーナーオペレーション67%

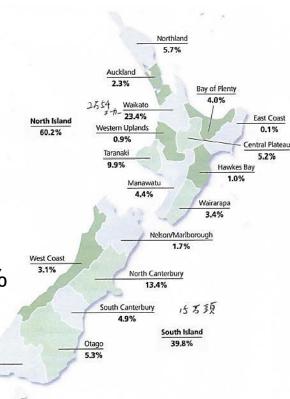
シェアミルカー32%

・平均牧場売値 : 520万 \$ (4万 \$ /ha)

* 1 \$ = 78円(2016.3.10)

・乳価 : \$3.90/kg(MS)+35~40 c(MS1kg≒7.5ℓ→52 c(約40円))

Southland



乳価の変動

Season	Average Dairy Company total payout (\$/kg milksolids)	Dairy Company payout (inflation adjusted)
1995/96	3.99	5.90
1996/97	3.63	5.31
1997/98	3.42	4.91
1998/99	3.58	
1999/00	3.78	5.16
2000/01	5.01	5.34
2001/02	5.35	6.86
2002/03	3,66	7.13
2003/04	4.25	4.81
2004/05	4.58	5.45
2005/06		5.71
2006/07	4.10	4.93
2007/08	4.46	5.25
2008/09	7.67	8.68
2009/109	5.14	5.71
2010/115	6.37	6.96
2011/12	7.89	8.18
	6.40	6.58
2012/13*	6.18	6.31
2013/145	8.47	8.51
2014/156	4.69	4.69

Weighted to give real dollar values using the Consumers Price Index for the end of the June quarter.
Sourced from Statistics New Zealand; Excludes dairy company retentions and deduction for DairyNZ Levy.
Average dairy co-operative payout (Fonterra, Tatua, Westland). This includes Fonterra dividend

ニュージーランド視察における目的

- ① 5年前の渡航からの酪農システムの変化
- ② 最大限の放牧草利用テクニック
- ③ 営農(経営計画・目標等)における考え方と姿勢
- ④ 放牧ローテの設定と放牧地の管理
- ⑤ 自然環境との接し方



ニュージーランド酪農状況

- 2013/14の\$8.51/kg(MS)を境に暴落した乳価の下、徹底した生産コスト削減をどの農場でも行っている!!
 - → ① 従業員数の削減
 - ② 徹底した牧草(青草)主体の給餌放牧草コスト8 c、採草コスト33 c (DM1kg)
- 酪農業界のルールはフォンテラが決める
- 政府からの支援・事業・処置は皆無!!
- 個体価格 : 廃用4.5万円、肉用屠畜1000 \$ 、初妊1000 \$
- 受精師は、LRCから派遣され精液選定も基本的にLRCが行う



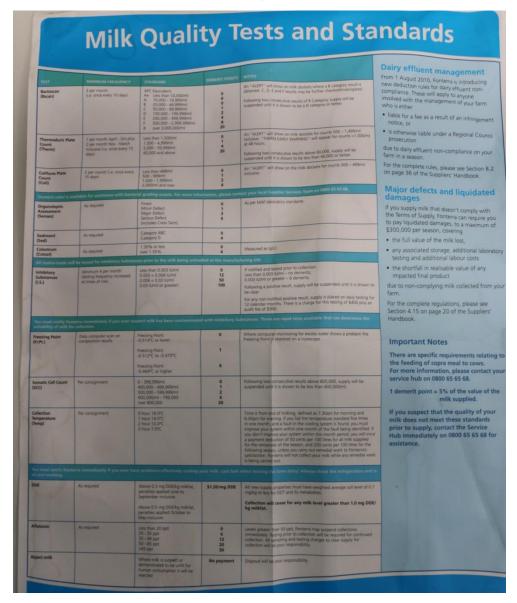
NZ酪農における規則

- 乳質面
- ・ 体細胞40万~ペナルティ、80万以上×2で出荷停止
- *乳質基準があり、違反ポイントに応じて罰則も変わる。 1 P→乳価5%減、20 Pで出荷停止
- 環境面
- SRの向上、放牧後のN散布にて、河川へのN排出量が上昇し環境問題とされている
- →①各農場にパーラー排水処理施設が義務付けられている
 - ②各農場ごとに、N流出量の基準が設けられ、定期検査にて基準以上だった場合、環境裁判にかけられ、判決次第では出荷停止と100万 \$ の罰金が科せられる(2016.6.1より施行)

ペナルティが無く、 乳質面で優良な牧 場には年1回表彰 があり、5年連続 表彰でゴールドを 獲得



乳質基準



N流出量の設定

Report from OVERSEER® Nutrient budgets 2015, Copyright@ 2015 MPI, AgResearch and Fertiliser Association of New Zealand. All rights Reserved. Version 6.2.0, on 20/11/2015 11:09:22 a.m.

Nutrient Budget

OVERSEER

	Ť							1	
	N	Р	К	S	Ca	Mg	Na	/	
Nutrients added in				(kg/ha/yr)				\	
Fertiliser, lime & other	241								
and a strict	241	32	0	53	71	0	0		
Rain/clover N fixation	6	0	3	5	2	5	33		
Irrigation	9	0	6	9	34	8	35		
Supplements imported	26	5	8	2	2	13	1		
Nutrients removed									
As products	148	26	34	9	35	3	10		
Exported effluent	0	0	0	0	0	0	0		
As Supplements	0	0	0	0	0	0	0		
To atmosphere	108	0	0	0	0	0	0		
To water	32	1	24	52	82	1	2		
Change in internal pools									
Plant material	-18	-2	-15	-2	-4	-1	-1		
Organic pool	11	13	2	10	1	0	0		
Inorganic mineral	0	9	-28	0	-2	-3	-3		
Inorganic soil pool	0	-10	-1	0	-3	26	61		

ポプラファームの場合、32kg/haまでの設定

※リンカン大学の場合、29kg/haまでの設定

家畜の健康面

- 乳質面マイコプラズマ性乳房炎の事例は無い
- 疫病面BVDの検査をバルク乳から行い、徐々に個体を突き止めるレプトスピロースの検査を行う ← 人にも感染する病気
 - ※ NZには日本の様に、家畜に対する保険が存在しない!



ニュージーランドの飼養管理

○ 季節繁殖(搾乳)

春(7-9月):分娩、初夏(10中-1初):種付け、

晚秋(5月):乾乳、冬(6-7月):乾乳期

利点: 餌代の削減、労働の効率、LifeStyle

欠点:淘汰の優先は繁殖状況(能力での淘汰が難しい)、投資資本の限定活用



- ・牧草管理(特に青草)が全て!その為に、灌漑している(降水量600mm/年)
- ・最低労賃が15.25\$/h(1190円)
- ・人工授精は2回(7割受胎)、本交1回まで
- ・牧草収穫コストは、乳代の3%まで



ニュージーランドの放牧管理

- ペレニアルライグラスの特徴
 - ①三葉性・・・3枚目の葉が出ている時が最も栄養価が高い。4枚目 以降・2枚目の段階では栄養価が3枚目に劣る
 - ②開花期・・・4枚目が茎となり、さらに栄養価が減少
- 放牧のポイント

放牧残さを適正にし、高品質時に放牧できるローテーション → 最短 2 1 日 出穂する前に放牧する事が夏場の課題 → 残さが多くなったら「トッピング」 スプリングプランナーの設定 → A P Cを把握し、残さを1500kg/ha目標

○ DM要求量

ホルスタイン: 5.5 t/頭・year(日本の場合、もう少し高いと考えられる)

キウイクロス: 5.3 t /頭・year

乳牛:19~22kg/頭・day

乾乳:13kg/頭・day

牛乳は牧草から搾る!!

飼料の品質

ř	~
13 2 8kg -	
の生物差し	
か、計算器	3
1) 11700	9

	DM %	ME (MJ/kgDM)	CP %/DM	NDF %DM
Spring pasture	13-20	11.5 - 12.5	18-28	30 - 45
Summer leafy	13 - 20	11.0 - 12.5	18 - 28	35-50
Autumn/Winter	13 - 20	11.0 - 12.0	18 - 30	30-45
Summer stalky	20-30	9.5 - 10.5	13 – 18	45 – 55
Pasture silage (Good quality)	30 – 35	11.0	17	45 – 50
Pasture silage (poor quality)	33 – 40	9.0	12 – 14	53 – 57
Lucerne silage	30-50	9.0 - 11.0	19-23	36 - 48
Pasture hay (Good quality)	85	9 – 10	15 – 20	50 – 58
Pasture hay (Poor quality)	85	7-8	5 – 10	60 – 70
Barley grain	86-89	12.5	11-12	16-21
Wheat grain	86 - 89	13 – 13.5	13	11-14
Barley Straw	87	6-7	4 - 5	80

大麦

カブ(畜産用ビート)の利用



放牧前と放牧後



before

ペレ3枚目の伸長で、草丈15~18cmが 放牧適期

1

A P C 2600~3000kg/ha・DMを目標値として、放牧

目安として、haあたり68頭の放牧が適正 となる(1500kg/ha ÷ 22kg/頭・day)

after

放牧後、草丈4.5~5cmが理想 (ペレの場合、多可刈りで低い草丈にされる方が分結が盛んで、密度が濃くなる) *クローバーの生長点を食べられないよう にコントロール



残さ1500kg/ha・DMを目標とする



登場人物



Poplars Farm Ltd Owner George Leslie Sheremilker WADA Koji

日本人初のシェアミルカー

人生観(Mr, WADAの場合)



Mission Statement: Make a legend

- ・現在38歳、香港人の妻を持ち、子供2名。子ども達、孫達へ語り草をして残る人となれる事を人生の目標としている
- ・日本人初のシェアミルカーとして、ワーホリや バックパッカーで訪れる日本人の働き先(職場では 英語)として受け入れも行っている。視察などで訪 れる日本人の受け入れにも盛ん
- ・常に短年計画、中期計画(3年)、長期計画(5年 以上)を持ち把握し、月1回経営状況の確認を行っ ている
- ・シェアミルカーは周りからの評価や信頼を得る事が一番であり、従業員の雇用もあるためマネージメントカや人間力の成長に向けた努力をしている

仕事が自分をコントロールするのではなく、自分が 仕事をコントロールする!!その為、日々の仕事を 忙しくさせない事に気を遣う

NZと日本の違い

- ① 気候として、NZは雪がほとんど降る事がなく、Canterbury地方は地中海性 気候で干ばつが起こる(放牧を行う上で、春先に青草があるアドバンテージは 大きい)
- ② 経営や情勢の変化に敏感で、政府や関係機関を当てにする事が無く、自力で解 決させる力強さを持つ
- ③ 新しい技術をどんどん開発し、リスクを恐れず率先して取り入れる柔軟さを持ち合わせる(自分を率先して変化させていく事が出来る気質)
- ④ N Z で 牧場オーナーになる事はステータスである → 1 農場の売却値が、数億 単位
- ⑤ 数字に出来るところは徹底的に数字に表し、各牧場で共有する(全牧場のマーケットターゲットを輸出に向いている。経営的に優秀な牧場は、経営状況を ネット上でも公開している)
- ⑥ 経営上、どんなに好景気でも<mark>徹底した生産コスト管理</mark>を行い、CFの増大させる取り組みを行っている

